

順天堂医療体験セミナー

1. 活動時期 2025年7月19日

高校2年 島田弥空

2. 活動の概要

順天堂シュミレーションセンターで、抽選に当選した計23名の高校生が、「救急室での一連の救急医療」と、「手術室での一連の手術手技」の2つに分かれ、チームで協力して体験した。手術室のチームは、術衣着用、ルート確保、気管挿管、皮膚縫合、電気メス(腫瘍摘出)、VR手術(虫垂切除術)を一連の流れで行った。最後に、1チーム6人で3種の職種に分かれ、手術室チームは「鎮静、麻酔導入からポート作成、VRでの切除、閉創」の手術を、救急室チームは「心停止からの一次救命、搬送、救急室での2次救命」を、コンペティション方式で行った。

3. 感想

私は手術室チームで、手術の一連の流れを体験した。電気メスやVR手術の体験はなかなか高校生でできることではないので、貴重な経験ができた。気管挿管を行う際、食道に入りそうでとても難しかった。コンペティションでは皮膚縫合を担当した。大勢の人に見られながらだったので、とても緊張して手が震えたが、上手に縫うことができた。縫った痕が皮膚の外に見える縫い方ではなく、皮膚の内側に糸がくる埋没法という縫い方を教わった。皮膚がちぎれないように針を捻って刺すことがとても難しかった。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

医学部を考えている生徒だけでなく、医療に興味がある人全員におすすめです。

